● 取扱説明書 ●

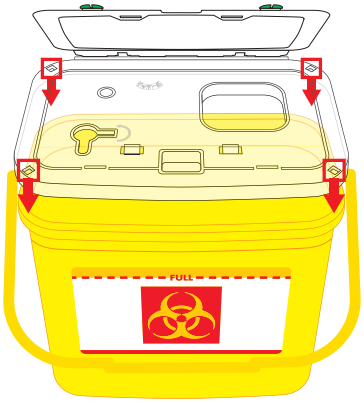
注射器材廃棄容器 キーパー2シリーズ

針刺しを防ぐために　**すべての方の安全のために**

注射器材廃棄容器は、感染の危険のある注射針を廃棄する容器です。誤った使い方をすると次の使用者も危険です。ご使用に際しては、十分に注意して正しくお使いください。

■ご使用になる前に

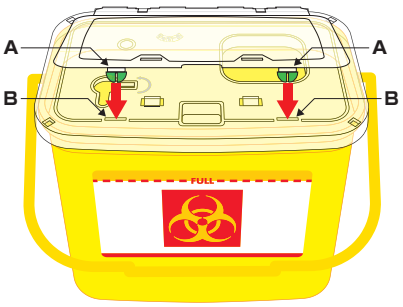
フタを本体にしっかりとはめ込んで下さい。
平らな所で一気にはめ込んで下さい。



■最終処理に出す時には

製品ラベルや容器外ラベルの**FULLライン**になったときです。

1. フタのツメ（グリーン部）2ヶ所 A を90度に折り曲げます。
2. 差し込み口 B にしっかりと差し込み完全にロックをします。（フタが開かない状態になります）



投入口　**抜針後、そのまま投入して下さい。**

5ml までの注射器は、針を外さずに投入できます。
翼状針、留置針、採血ホルダーなども投入できます。

FULLラインは使用限度を示します。

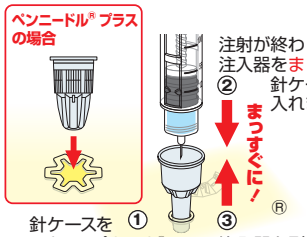
●キーパー2C
投入口・背面からもはっきりわかります。

●キーパー2プラス
●キーパー2アイキャッチャー
●キーパー2つむぎ
投入口からわかります。

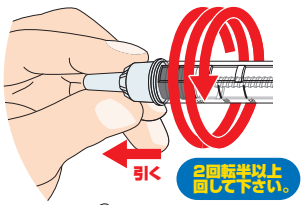
インスリン注射の針刺し対策に！

■リキャップホール®

インスリン注射などに使うペン型注入器の針にキャップをする機能です。



④ 針ケースを指で保持し、注入器本体を反時計方向に回してから取り外します。

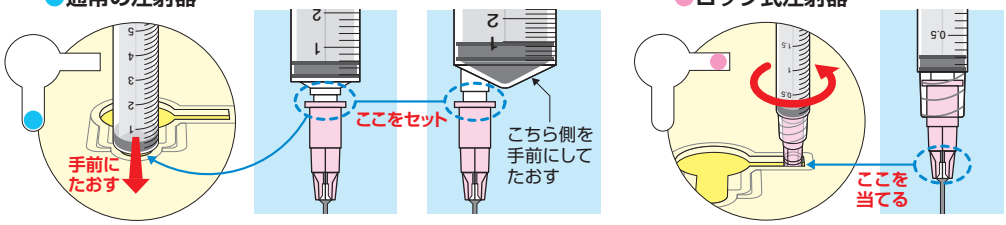


⑤ 針ケースごと廃棄して下さい。

■針外し機能

（病室などで注射器ごと廃棄できない時の、緊急的な機能としても活用できます。）

●通常の注射器　　中口タイプ　　横口タイプ　　●ロック式注射器



注射器をセットして**たおす**だけで注射針が容器内に投入されます。
＊引っ掛けて引き抜くのではありません。

注射針の針元を型に当てて、**左に回す**と簡単に外れ、容器内に投入できます。

取扱上の注意

- ●破損、変形している製品は、使わないで下さい。
- ●液状、泥状の物は、入れないで下さい。
- ●オートクレーブなどの高温処理は、しないで下さい。
- ●完全にロックした製品のフタを無理に開けて、再度使用しないで下さい。
- ●注射器材の投入後は、フタをして下さい。
- ●投入口には、指を入れないようにして下さい。
- ●使用限度の FULL ラインは、守って下さい。
- ●廃棄物は、別の容器へ移し替えたりしないで下さい。
- ●廃棄物の入った容器は、足下に置かないで下さい。
- ●最終処理時は、フタを完全にロックして下さい。

廃棄物（注射針など）の状況によっては、稀に針先が投入口のすぐそばに来てしまう場合もあります。注射器材の投入に際しては十分注意して下さい。
また、そのような時は FULL ライン以下であっても、それ以上使わないで下さい。

最終処理は、自施設の感染性廃棄物（鋭利物）の処理規定に基づいた方法で処理してください。

特許第4750146号　実用新案登録 第3150317号 第3201698号 第3201699号

製造元／有限会社 グッツール
TEL.072-627-5518 FAX.0120-881-768
e-mail:office@goodtool.biz　ホームページ www.goodtool.biz